

## 全国都市緑化かわさきフェア 基本・実施計画 目次

- ソフ特的取り組みとしてP.1~2に示します
- ハード的取り組みとしてP.3に示します

1. 基本的事項
2. 協働推進
3. 観客誘致・広報宣伝
4. 協賛
5. 会場
6. 出展展示
7. 植物調達・管理
8. 行催事
9. 飲食・物販
10. 会場運営・管理
11. 交通輸送

### 1 基本的事項

#### 全国都市緑化フェアとは

- 全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与するものです。
- 昭和58(1983)年から毎年、全国各地で巡回して開催されている花と緑の祭典です。
- 都市緑化をテーマとした、安定した集客が期待できる国内最大級のイベントで、開催都市はもとより、全国各地から花や緑のまちづくりに関心のある多くの方が来訪します。
- 緑化フェアの中心行事である全国都市緑化祭では、皇室からの「おことば」や子どもたちによる「緑化宣言」、地元の緑化活動関係者等への「みどりの社会貢献賞」の授与、皇室による「記念植樹」等が行われ、都市緑化の重要性を強く訴えかけるとともに、緑や花にあふれるまちづくりの推進に寄与します。

#### 全国都市緑化フェアの統一基本理念

『緑ゆたかなまちづくり』  
窓辺に花を・くらしに緑を・  
あしたの緑をいまつくろう。

#### 第36回 信州フェア



全国都市緑化祭  
(皇室による記念植樹)

#### 第38回 くまもとフェア



街なかエリア  
自治体出展花壇(川崎市)

#### かわさきフェア開催の意義と基本理念等

##### 〈かわさきフェア開催の意義〉

- 市民が暮らしの中で、積極的にみどりを取り入れるためのきっかけをつくること
- みどりに関する機運を高め、市民の行動につなげていく契機とすること
- 市民の行動が新しい川崎のみどりの文化を育み、誰もが住み続けたいまちにつなげていくこと

かわさきフェア開催の意義を踏まえ、次の100年に向けて、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、基本理念、コンセプト、基本方針を次のとおり設定し、取組を展開していきます。

##### ■基本理念

- かわさきフェアは、「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組」を推進します。
- 川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。
- かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいきます。

##### ■コンセプト

**Green For All! で  
みどりのムーブメントを  
起こします**

##### ■基本方針

###### 川崎の多様なみどりの“力”を感じるフェア

- ・生物多様性や都市が抱える様々な課題の解決につながる、グリーンインフラの持つ多様な機能や効果の発信
- ・身近なみどりやオープンスペースを活用して、市民一人ひとりがいきいきと居心地よく活動できる空間の創出

###### 先端技術で新たな都市緑化の“形”をつくるフェア

- ・フェアを通じて川崎の持つ最先端の技術、アイデアによる新しい都市緑化の実現
- ・市民一人ひとりのライフスタイルに応じた新しい公園の使い方の提案

###### 多様なみどりでつなげる“行動”を生み出すフェア

- ・市民、企業等が気軽に集い、新たな出会いやつながりを生み出す場づくり
- ・多様な主体がつながり、みどりに関わる様々な取組を継続・発展しながら、川崎のみどりの新たな価値を生み出していく仕組みづくり

###### 環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア

- ・これまで培ってきた強みを活かして、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向けた、川崎のみどりが持つ多様なポテンシャルの発信

###### 川崎らしい多様な文化を育むフェア

- ・川崎の歴史とともに、地域への愛着を持った市民が暮らしの中でみどりと関わり、多様な文化を育む機会を創出

#### かわさきフェアの開催概要

##### 名称・愛称

名称：第41回全国都市緑化かわさきフェア  
愛称：「Green For All KAWASAKI 2024」

##### 主催者等

提 唱：国土交通省  
主 催 者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構  
実施主体：川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

##### 開催期間

令和6年10月19日(土)～  
11月17日(日) (30日間)  
令和7年03月22日(土)～  
04月13日(日) (23日間)

##### 会場

コア会場：  
富士見公園、等々力緑地、生田緑地コア会場  
周辺エリア及びまちなかみどりスポット：  
公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設、商店街など

##### 入場方式

基本的に入場料は無料；  
既存の有料施設を活用する場合、現行の課金体系を参考とします。

##### 想定来場者数・概算事業費

想定来場者数：160万人  
概算事業費：概ね19億円

##### 統一主題(テーマ)

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

### 8 行催事

#### フェア開催1年前イベント

#### プレイベント

日 程：令和5年11月11日(土)～25日(土)  
プログラム：トークイベント：  
11月11日(土)、12日(日)  
各区の魅力の展示：  
11月11日(土)～25日(土)  
会 場：川崎市役所本庁舎



川崎市役所本庁舎アトリウム

#### オープニングセレモニー

#### 公式行事

日 程：令和6年10月19日(土)  
プログラム：(1) オープニングアトラクション：地元団体によるパフォーマンスで幕開け  
(2) 主催者挨拶  
(3) 関係者・来賓ご挨拶  
(4) テープカット(フォトセッション)  
参 加 者：地元関係者、イベント関係者 など  
会 場：富士見公園 など



テープカットセレモニーの様子  
(R3北海道フェア)

#### 総合開会式

#### 公式行事

日 程：令和6年10月19日(土)  
プログラム：オープニングアトラクション、開会宣言、主催者挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、表彰式、閉会挨拶 など  
参 加 者：実行委員会参画団体、地元関係者、関係機関(国、県、市) など  
会 場：カルッツかわさき



開会式の様子  
(R3北海道フェア)

#### 総合閉会式

#### 公式行事

日 程：令和7年4月13日(日)  
プログラム：オープニングアトラクション、主催者挨拶、来賓紹介、来賓祝辞、庭園出展コンテスト表彰式、フェア旗引継ぎ式、次期開催都市挨拶、閉会宣言 など  
参 加 者：実行委員会参画団体、地元関係者、関係機関(国、県、市) など  
会 場：カルッツかわさき



閉会式アトラクションの様子  
(R2熊本フェア)

#### 秋・春期セレモニー・全国都市緑化祭

#### 公式行事

日 程：秋期クロージングセレモニー(日程：令和6年11月17日(日)予定)  
春期オープニングセレモニー(日程：令和7年3月22日(土)予定)  
全国都市緑化祭(秋開催中のうちの1日開催予定)  
プログラム：秋期：地元関係者等によるアトラクション、主催者挨拶、春開催に向けた演出など  
春期：アトラクション、主催者挨拶、テープカット、秋から春へのつながりの演出など  
全国都市緑化祭：都市緑化宣言、コンテスト表彰、植樹祭 など  
会 場：カルッツかわさき、富士見公園 など



春へ繋がる演出

#### 連携イベント など

#### その他

- イベント(例)
- ・市民、団体、企業、行政等と実行委員会が連携し、フェアを盛り上げる既存又は新規イベント
  - ・身近な場所を彩る誰もが気軽に参加できる花植えイベント など
  - ・市民、団体、企業、行政等が主催する各種イベントやシンポジウム・フォーラム 等

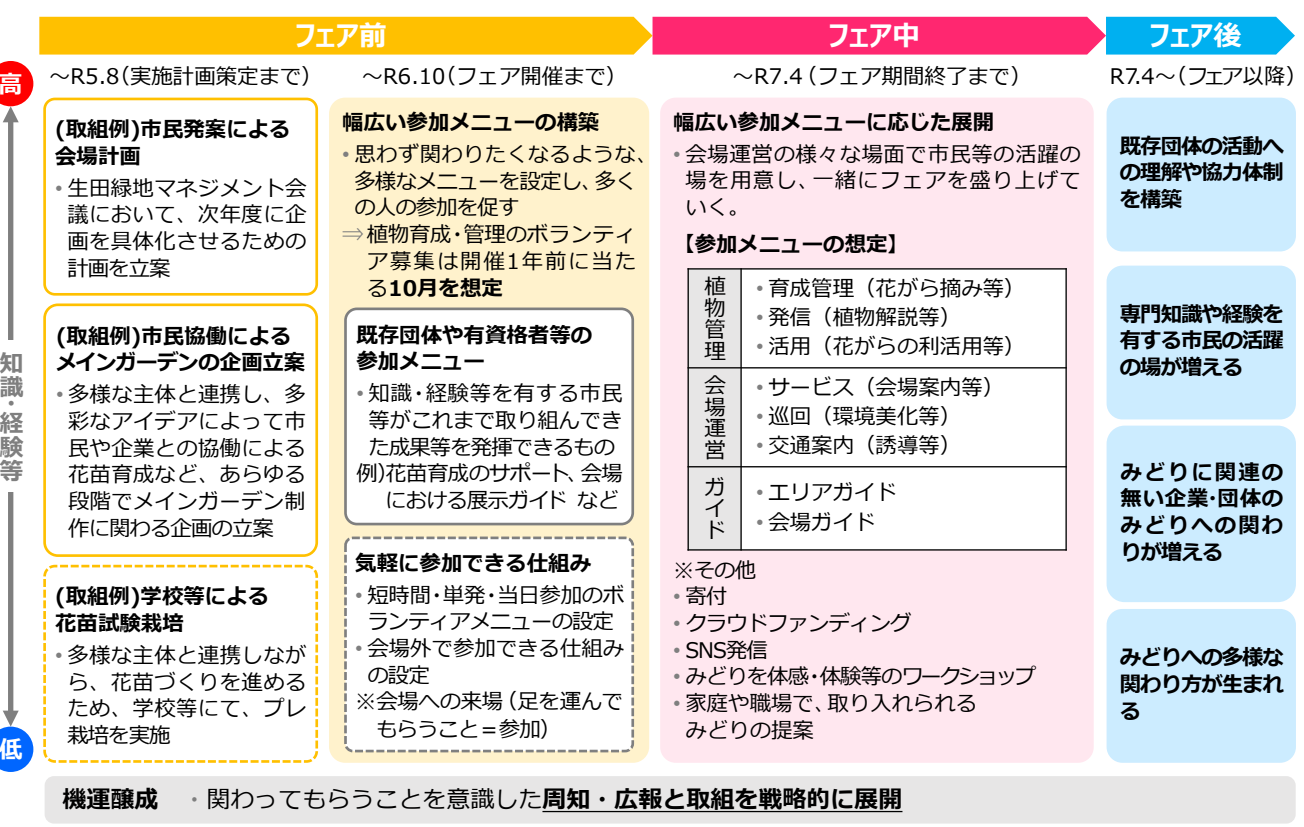


花と緑の市民フェアなど 近くの公園での花植え体験 など



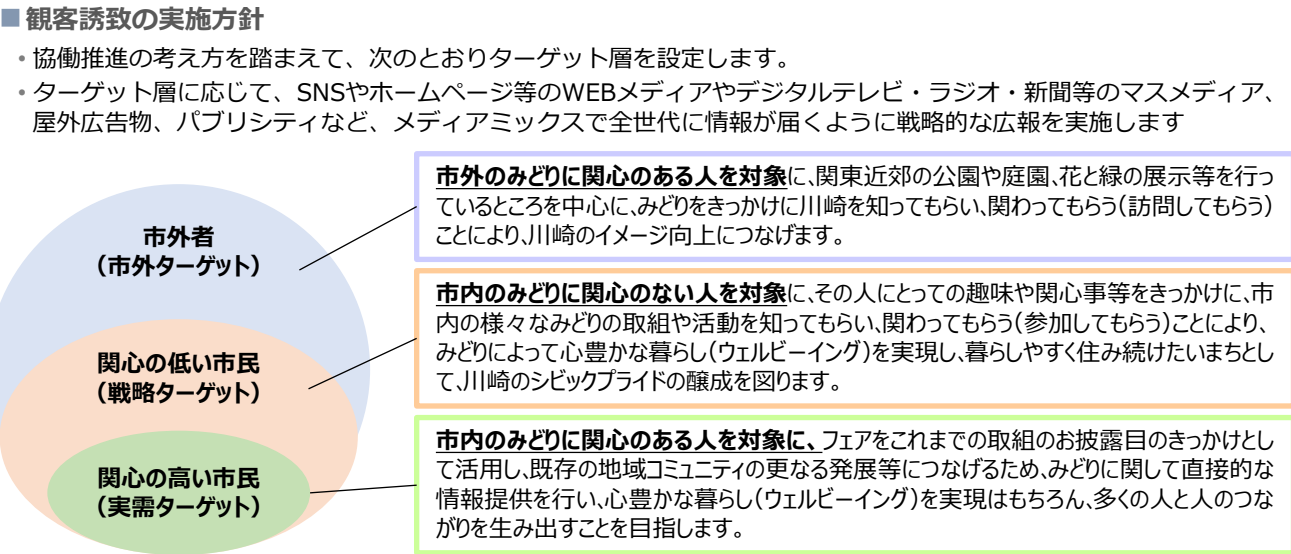
## 2 協働推進

- 川崎市においては、緑の活動団体をはじめ、民間企業や教育機関、農業関係者等との協働が進んでおり、貴重な財産であるこれまでの市民協働の取組を大切にしながら、地域の団体と、未来のまちづくりを担う子どもたちや若者が出会い、新たなつながりを生み出していきます。
- 企業、地域の団体等を巻き込み、フェア開催以降も継続できる新たな協働、共創による仕組みの構築につなげていきます。
- 川崎市民154万人にかわさきフェアを知って、関わってもらうことを目指していきます。



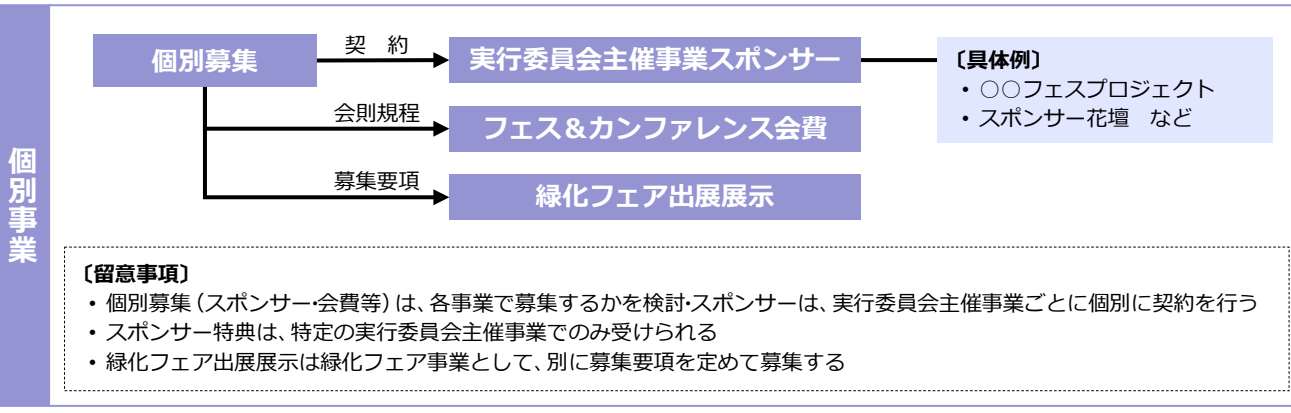
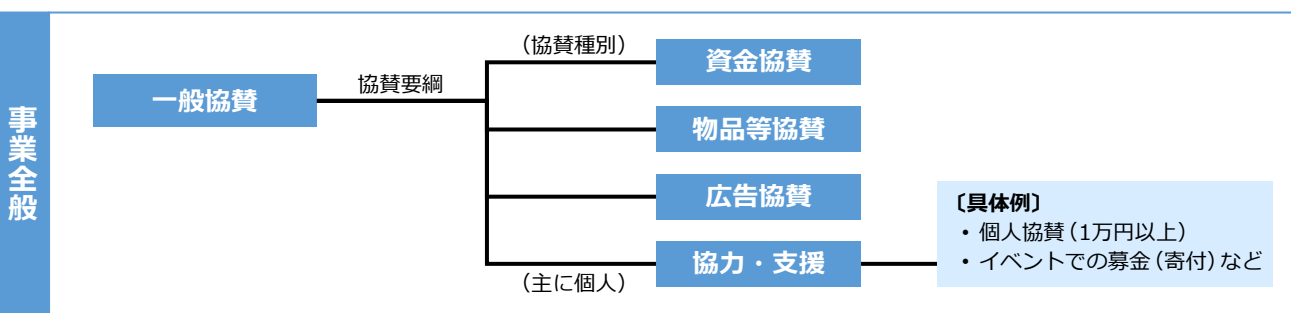
## 3 観客誘致・広報宣伝

- **基本的な考え方**
  - 広報宣伝活動及びび行催事については市制100周年記念事業と連携し、みどりの取組に関わっている市民はもちろん、幅広い市民と市外からの来場促進等を図ります。
  - フェアのコンセプトや川崎市の可能性を感じてもらうことで、シビックプライドを醸成するとともに、関係人口を増やしていきます。
- **観客誘致の実施方針**
  - ・ 協働推進の考え方を踏まえて、次のとおりターゲット層を設定します。
  - ・ ターゲット層に応じて、SNSやホームページ等のWEBメディアやデジタルテレビ・ラジオ・新聞等のマスメディア、屋外広告物、パブリシティなど、メディアミックスで全世代に情報が届くように戦略的な広報を実施します



## 4 協賛

### 協賛の体系図



## 9 飲食・物販

### 基本的な考え方

- 飲食店や生産者等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供します。
- SDGsの要素を取り込んだ衛生面や環境面に配慮したサービスを提供します。
- みどりを生活に取り入れる仕掛けや仕組みを取り入れます。
- 市民が楽しく参加できる様々なメニューを用意します。



- ◆ **想定される出店者 (募集開始 令和6年4月以降)**
  - 川崎市内営業飲食店
  - JAセレサ川崎
  - 川崎ものづくりブランド認定品
  - 園芸用品や自然素材を使用した工芸品などを扱う民間事業者
  - 環境面で評価を得ている民間事業者
  - 市内福祉団体 など



## 5 会場

### ■会場区分

〈会場計画に必要な視点として5つのキーワードを整理〉  
 持続可能………未来につながる取組  
 すべての人………市民総参加型のフェア  
 みどりでつなげる…人とみどり、人と人のつながりを感じる  
 多彩なみどり………街なかの緑地、多摩川、樹林地等を感じる  
 多様な効果………様々なみどりの効果を感じる

会場区分	定義
コア会場	5つのキーワードを全て取り入れて取組を展開する会場 南部・中部・北部に位置し、それぞれの地域性や特色ある3つの総合公園をコア会場として設定
エリア	駅からコア会場までの主要動線付近にあるまちなかみどりスポットなどを、各エリアのコンセプトを具現化して市内外からの集客を見込むエリアとして設定
まちなかみどりスポット (協賛・連携会場)	5つのキーワードを少なくとも1つを取り入れて取組を展開する会場

### ■会場区分ごとの取組の方向性

コア会場 (富士見公園・等々力緑地・生田緑地)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各エリアのコンセプトを定め、川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信</li> <li>フェアの主要な行事等(公式行事、出展展示等)を実施するとともに、周辺の地域資源や特色を活かし、多様な主体との協働・共創による様々な取組のショーケースとなる空間を創出し、市内外から来場者呼び込み仕掛けを展開</li> <li>グリーンインフラの効果やみどりの価値等を効果的に発信</li> <li>各公園の指定管理者と連携を図り、出展展示や行事を実施</li> </ul>
エリア (コア会場周辺)
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体と連携し、オープンスペースや地域資源を活かし、みどりの効果を感じながら、安全かつ歩いて楽しめる空間づくりを展開</li> </ul>
まちなかみどりスポット (協賛・連携会場)
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成する。</li> <li>訪れる側も、迎える側も、誰もが参加しやすく、親しみやすい名称を設定し、各地域における市民、企業、地域団体等の多様な主体と協働・連携した取組にスポットをあて、それぞれの特色を活かした取組を市内全域で展開</li> </ul> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な公園や商業施設等を活用した、花やみどりを体験・体感できる取組</li> <li>道路沿いや公園の花壇等での花植え活動</li> <li>多様な主体との協働・共創による、エリア全体でフェアを感じられる取組</li> <li>多くの人が集まる駅や公共空間を活用した、コア会場へとつながる期待感を醸成する取組</li> </ul>



## 6 出展展示

### 展示の基本的な考え方・展開イメージ

- 各会場のコンセプトに合わせた展示とし、フェア開催前や育成期の協働の取組と一体的に行います。
- 会場となる公園の指定管理者と協議し、運用や育成期の取り扱いなどについて調整します。
- 秋と春の2期開催とするかわさきフェアにおいて、内容に応じてより適切な展示期間を設定します。
- なお、秋と春ともに展開する展示については、原則として規模や場所を秋と春で共通とし、季節を感じる展示を行います。

### ■「川崎のみどり」の歴史とこれからのみどりを考えるきっかけとなる展示

- 川崎のみどりの歴史やこれからの川崎のみどりについて、パネル等を用いて展示し、次の100年に向け川崎市が目指す環境先進都市のあるべき姿を市民とともに考える展示とします。

### ■壁面緑化等みどりの新しい技術の発信

様々な素材や手法を活用し実際の壁面を使った色鮮やかな壁面緑化を、平易でわかりやすい言葉を使った解説板を設置し、都市緑化の技術の進歩を実感させる展示とします。



仙台ばら会の展示 室内緑化の展示 案内所の壁面緑化 壁面緑化の解説

## 7 植物調達・管理

### かわさきフェアで使用する花・植物の考え方

#### ■「かわさきの植物」の活用

##### 区の花・区の木を活用

- 各区と連携しながら、フェア会期だけでなく様々なイベント等において区の花・区の木を活用します。

##### 地域の植物の活用

- 植物の調達は、『市内産→県内産→県外産』の順で実施します。
- 市民協働による花苗育成を展開し、会場の花壇等に活用します。
- 市内産花卉について発信・PRします。

##### 既存の植物の活用

- 既に植栽されている草花や樹木等の魅力を活かし、引き立たせるような活用を行います。

#### ■「市民生活に取り入れやすい花・植物」の選定

##### 初心者にも育てやすい花・植物の選定

- フェアをきっかけに育ててみたいとなる、初心者にも育てやすい花・植物を活用します。

##### 様々な環境・ニーズに合わせた花・植物の選定

- 屋内、ベランダ、オフィス等の様々な環境や市民ニーズに合わせた花・植物を活用します。

##### 持続可能な景観づくりに向けた花・植物の選定

- フェア後も残るかわさきの景観づくりに向け、毎年、花を着け、生き続ける多年草や樹木類等についても活用します。



市民協働による花苗育成  
 ・たねダンゴによる育成(例:マリーゴールド/ジオア/ピンカ)  
 ・牛乳パックによるポット(例:キンギョソウ/ヤグルマギク/リナリア)



様々な環境・ニーズに合わせた植物の選定例  
 ・パイオフィックデザイン(例:観葉植物/アーティフィシャルフラワー)  
 ・キッチンガーデン・エディブルフラワー(例:ハーブ類/野菜)



持続可能な景観づくりに向けた植物の選定例  
 ・宿根草ガーデン(例:グラス類/球根植物)  
 ・グランドカバープランツ(例:ヒューケラ/ユーフォルビア/シバザクラ)

## 10 会場運営・管理

- 市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した会場運営の手法を導入し、環境や安全面に配慮するとともに、誰もが快適に参加できるような適切な会場運営を行います。
- 市民等が広く参加できるボランティア活動メニューを用意し、会場運営の様々な場面に関わってもらう機会を創出します。
- 様々な技術やノウハウを有する企業や指定管理者等と連携し効率的な会場運営、環境面に配慮した取組を推進します。

## 11 交通輸送

### 3会場個別に展開する取組

#### ■富士見公園

- 路線バスの運行本数も多いことなどから、既存の路線バスを適切に案内します。

#### ■等々力緑地

- 会期中の土日祝日のイベントの実施内容に応じて、駅から会場までスムーズに移動できるよう、既存バス路線の増便等の対応を予定します。

#### ■生田緑地

- 会期中の土日祝日のイベントの実施内容に応じて、駅から会場までスムーズに移動できるよう、既存バス路線の増便等の対応を予定します。

### 〈会場内での移動をサポートする交通サービスの展開〉

- 駅からのアクセスや会場内での移動をサポートするため、**生田緑地ばら苑と生田緑地東口をつなぐマイクロバスや、向ヶ丘遊園駅から生田緑地東口、西口をつなぐ、環境に配慮したグリーンスローモビリティ等による運行を行います。**
- 会場内、特に生田緑地ばら苑との行き来がしやすくなるような誘導や案内の工夫を図ります。

